

しかぜも
やっている

めあて・見通し が もてる工夫

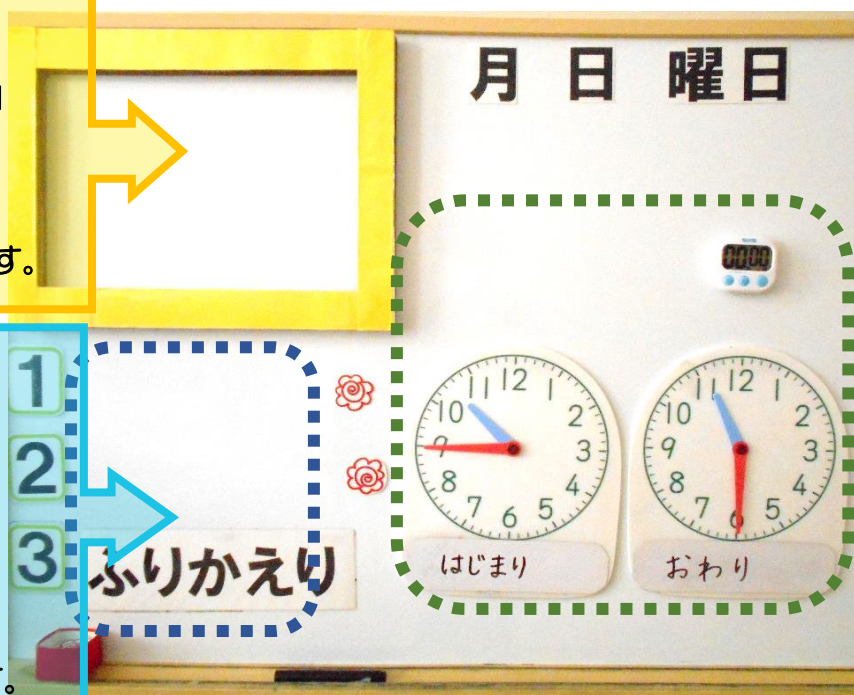
学習のはじめに「なにをやるかがわかる」ようにしています。

めあて

「時間を守ろう」「たくさん書こう」
「よく聞く、よく見る」
「自分の考えを伝えてみよう」
など、自分に合うめあてをきめます。

見通し

①おはなしをきく
②プリント3まい（15分）
③うんどう（15分）
など、これからやることが、
わかるようになっていて安心です。



めあて

はじめに必ず「めあて」を確認します。終わりには「めあて」が達成されたかどうか、「ふりかえり」も行うことで、目的を一貫して学習することができます。
例えば「めあて：きめた時間をまもろう」とし、「3つのうち、2つは守れた。次は、タイマーをつかって3つともできるようにになりたい。」とふりかえれば、次回のめあては「3つの時間をまもろう」と積み重ねていけます。
低学年では、「花丸・丸・三角」などで振り返ってもいいですね。

学校では45分間で3つ程度、やることを書きます。「何をどのくらいやるのか」事前に明確に提示することで、安心して学習に取り組みます。多すぎると、やる気がダウンしてしまうかもしれません。できたら、花丸を貼る（シールやマーク等もOK）のも、おすすめです。大人のTO DOリストに、似ているかもしれません。

お子さんに合わせて、時計の絵や実物、タイマー等を使うことも有効です。はじめは大人が設定していても、次第に自分でできるようになります。「どのくらいの時間、集中できるのか」「どのくらいの時間でどのくらいの作業ができるのか」を知ることができます。

おうちでも、紙やホワイトボード、タブレット等を使って行えます。ぜひ「できた」を積み重ねられるちょっとした工夫を やってみてください。